

平成24年度 決算報告

市では毎年、予算・決算などの財政状況を公表し、市民の皆さんから納めていただいた税金がどのように使われているのかをお知らせしています。

今回は、平成24年度決算の概要などをお知らせします。
【財政課】

一般会計決算の状況

歳入総額 320 億円

地方交付税 77億円 (24.1%)
人口や税取などに応じて国から配分されるお金

市税 69億円 (21.5%)
前年の所得や所有する土地などに応じて市民から納めてもらう税金や会社からの法人税

市民1人当たりの負担約10万円
平成24年度末住民基本台帳登録者数より算出

市債 64億円 (20.0%)
財政収入の不足を補う借入金

国庫支出金 31億円 (9.7%)
国から配分されるお金

繰入金 18億円 (5.6%)
貯金や他会計からの繰入金

県支出金 16億円 (5.0%)
県から配分されるお金

その他 45億円 (14.1%)
ごみ処理手数料や寄付金、施設使用料や分担金など



市民1人当たりのサービス約48万円
平成24年度末住民基本台帳登録者数より算出

あやの台小学校や保健福祉センターの新築、小中学校の耐震補強工事などにより前年度と比べ約20億円増加しました

景気悪化などによる法人税の減少や、評価替えに伴う固定資産税の減少などにより、前年度と比べ約2億円減少しました

橋本市土地開発公社を解散するため、金融機関からの借金(約13億円)を肩代わりしたことなどにより、前年度と比べ約14億円増加しました

財源不足を補う借金や橋本市土地開発公社を解散するため、その負債分の借り入れを行い、前年度と比べ約24億円増加しました

公共下水道事業特別会計へ約10億円、介護保険と後期高齢者医療特別会計へそれぞれ約8億円の繰り出しを行いました

平成24年6月22日および7月7日の豪雨災害の復旧事業費などを支出しました

あやの台小学校建設に伴う南海電鉄からの開発協力金(寄付金)がありました

歳出総額 316 億円

普通建設事業費 59億円 (18.7%)
道路や施設の建設、また大規模改修経費など

人件費 52億円 (16.4%)
職員給与・議員報酬など

補助費等 42億円 (13.3%)
各種団体などに対する補助金・負担金など

扶助費 41億円 (13.0%)
児童・高齢者・生活困窮者を援助するなど住民福祉を支えるための経費

繰出金 35億円 (11.1%)
特別会計や基金へ支出したお金など

公債費 30億円 (9.5%)
借金(市債)の償還金

その他 57億円 (18.0%)
物件費・維持補修費・災害復旧事業費など

平成26年度 当初予算

市の一年間のお金の使い方をまとめた当初予算が完成しました。市の財政事情はまだまだ厳しい状況が続いており、行政改革推進計画に基づき職員数や事務経費を削減し、財源の確保に努めています。

平成26年度の全会計の当初予算額は、前年度と比べて17億4,489万3千円（率にして3.3%）増の541億9,412万5千円となっています。

このうち、一般会計は4.6%増の262億1,992万8千円、特別会計は3.1%増の176億4,803万8千円、803万8千円、企業会計は0.6%増の103億2,615万9千円となっています。

【財政課】

一般会計の概要

歳出

主な事業として、ため池ハザードマップの作成など、防災対策を図るとともに、平成27年4月開園予定の橋本こども園・応其こども園の建設工事費や（仮称）山田地区公民館の建設工事費を計上するなど、「安心・安全なまちづくり」「活力みなぎるまちづくり」「若者が定住できるまちづくり」「緑のまちづくり」を柱とした予算編成となっています。

歳入

市税については、税制改正により平成26年度から個人市民税の均等割の税額が引き上げられたことや軽自動車税の件数増加などを勘案し、増額予算となっています。

また、2つのこども園の建設や（仮称）山田地区公民館の建設等大型公共事業の実施に伴い市債が大幅に増加していますが、地方交付税で措置される割合の高い地方債を活用することにより、市民の皆さんの負担をできるだけ抑えた予算編成となっています。

基金および市債残高

基金は、財政調整基金や特定事業のために積み立てた地域づくり基金などの特定目的基金を取り崩したことにより減少しています。

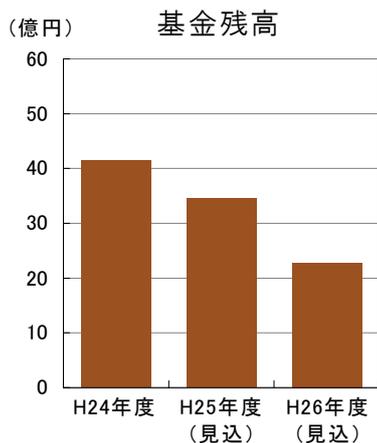
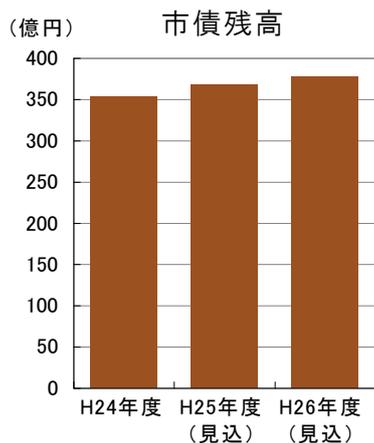
また、地方交付税の財源不足を補うための臨時財政対策債の借入や大型公共事業の実施に伴い市債残高は増加しています。

一般会計 262億1,992万8千円
(対前年度比 4.6%増)

特別会計 176億4,803万8千円
(対前年度比 3.1%増)

企業会計 103億2,615万9千円
(対前年度比 0.6%増)

全会計 541億9,412万5千円
(対前年度比 3.3%増)



一般会計の内訳

歳入総額
262億1,992万8千円

歳出総額
262億1,992万8千円



平成26年度の主な取組み

平成26年度は、平成26年3月に市長選挙が予定されていたことから、新規事業に要する経費は計上せず、従来からの継続事業に要する経費を中心とした内容となっています。

市民の皆さんが安心して暮らせる 安心・安全なまちづくり

教育と福祉の更なる充実に取り組み、市民誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

一こども園整備事業

11億8,392万8千円
平成27年4月に開園予定である「橋本こども園」および「応其こども園」の建設工事費、備品購入費等を計上しています。



▶平成24年に開園したすみだこども園

城山第2学童保育所建設事業

2,988万6千円
城山小学校区の学童利用者の増加に対応するため、城山小学校の敷地内に第2学童保育所を新築します。

(仮称) さつき保育園新設

1億1,977万9千円
施設整備費補助金
さつき台に民間保育所の新築が計画されていることに伴い、保育環境の充実を図るために、経費の一部を助成するための補助金を計上しています。

(仮称) 山田地区公民館

2億3,080万4千円
建設事業
老朽化している西部地区公民館を(仮称)山田地区公民館として新築するための建設工事費、備品購入費等を計上しています。(平成27年4月オープン予定)



▶(仮称)山田地区公民館の完成予想図
(実際とは異なる場合があります)

ため池等整備事業

3,500万円
今後発生が予想される東南海地震や台風などによる大雨の備えとして、ため池等の現状を把握するとともに、ため池が決壊した場合の危険性を市民に周知するために、地域住民と協働でハザードマップ等の作成を行います。



道路施設長寿命化事業

3, 300万円

地震・水害等による道路災害を未然に防止するための予算を計上しています。道路・橋梁・トンネルの劣化が激しいところから順次修繕を実施します。

河川改修等事業

2, 475万5千円

大谷川の改修工事及び岸上川の浸水対策を行います。また、市内各河川の浸水対策を強化するため、排水ポンプを5台購入します。

都市公園バリアフリー化事業

1, 000万円

市内の都市公園のバリアフリー化事業等を行うもので、スロープ、手すりの設置、段差解消などを行う工事費を計上しています。

コミュニティバス運行事業

2, 958万5千円

平成26年4月1日から従来の3ルート（東・中・西）に加えて、北ルートの運行を開始します。

御幸辻駅前広場・

杉村公園駐車場整備事業

1億5, 341万2千円

国道371号バイパスから南海御幸辻駅及び杉村公園への利便性の向上を図るため、御幸辻駅前広場を整備するとともに、杉村公園駐車場の整備を進めます。

企業誘致事業

6, 000万円

あやの台北部用地（隅田町山内・平野地区）を企業誘致用地として開発することについて、南海電気鉄道株式会社・和歌山県・橋本市の三者が協力して実施する基本協定を締結しています。

平成26年度は、全体事業費や分譲価格等を試算し、採算性のとれる手法を検討するための基本計画の策定委託料を計上しています。

くじぎふれあいの里整備事業

5, 585万2千円

現在工事中の紀の川左岸広域農道沿い（南馬場地区）に新たな観光交流拠点として、あずまや・駐車場・トイレ等を整備します。また、直売所建設に対する補助金も計上しています。

隠れ谷池

トイレ・栈橋整備事業

2, 911万3千円

清水の隠れ谷池は、紀州製竿組合の研究池ですが、一般の方にも開放されて気軽にヘラブナ釣りが楽しめます。平成25年3月に国の伝統的工芸品となった地場産業「紀州へら竿」促進の場として、また、豊かな自然を楽しめる観光拠点となるようトイレ・栈橋の整備を行います。

(仮称)

岡潔記念館建設事業

399万8千円

世界的な数学者で、本市最初の名誉市民である故岡潔博士の偉業を伝承し、将来を担う若者に橋本市民としての誇りや夢を与えるため、杉村公園内に記念館を建設します。平成30年度完成に向けて基本設計委託料を計上しています。

前畑秀子

生誕100年記念事業

151万9千円

ベルリンオリンピックピック200m平泳ぎの金メダリストで本市の名誉市民である故兵藤（旧姓 前畑）秀子氏の生誕100年を記念して、パネル展等を開催します。また、毎年実施している前畑秀子・古川勝記念水泳大会にスペシャルゲストを招くための関連経費も計上しています。